

令和 2 年 第 4 回 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

1	開催日	令和2年4月20日(月)	
2	開催場所	市役所本庁舎301会議室	
3	出席した委員	教 育 長 中 川 宣 芳 委 員 山 田 周 司 委 員 伊 藤 敬 一 委 員 伊 藤 和 子 委 員 加 藤 由 美	
4	欠席した委員	なし	
5	説明のため に出席した 職員	教 育 部 長 伊 藤 武 志 健康生きがい支え合い推進部長 入 江 慎 介 こども未来部長 鍛冶屋 勉 教育部次長 松 永 祥 司 教育総務課長 小 川 正 夫 学校教育課長 堀 田 正 二 学校教育課管理指導主事兼主幹 加 藤 和 昭 まなび創造館長 恒 川 正 樹 文化財課長兼小牧山課長兼文化・スポーツ課主幹 武 市 礼 子 図書館長 山 田 久 文化・スポーツ課長 永 井 政 栄 教育総務課庶務係長 林 孝 政	
6	本委員会書記	教育総務課庶務係主査 遠 山 史 織 教育総務課庶務係主任 山 田 晶 尚	
7	議題	議案第25号 附属機関の委員の任命について 議案第26号 附属機関の委員の任命について 議案第27号 附属機関の委員の任命について 議案第28号 附属機関の委員の任命及び委嘱について 議案第29号 附属機関の委員の委嘱及び任命について	
8	報告及び連 絡事項	報告第 1号 小牧南小学校改築工事実施設計について 報告第 2号 小牧市学校施設長寿命化計画について 連 絡 事 項 5・6月行事予定 報告第 3号 令和2年度主任・主事について 報告第 4号 行政文書の開示について 報告第 5号 小牧市文化財資料研究会研究員について 報告第 6号 令和元年度一般財団法人こまき市民文化財団収支補正予算 について 報告第 7号 令和2年度一般財団法人こまき市民文化財団事業計画等につ いて 報告第 8号 中部フィルハーモニー交響楽団補助金交付要綱の制定につ いて	

	報告第 9号	令和元年度公益財団法人小牧市体育協会収支補正予算について
	報告第10号	令和2年度公益財団法人小牧市スポーツ協会事業計画等について

<開会 午後 4時00分>

公開会議

○教育長（中川宣芳）

それでは、ただいまより令和2年第4回定例教育委員会を開催いたします。

本委員会にお二人の傍聴の申し出がありましたので、ここでご報告させていただきます。

それでは、3月13日開催の令和2年第3回定例教育委員会及び3月25日開催の令和2年第2回臨時教育委員会の会議録につきましては、お手元にお示しのとおりご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、会議録は承認とさせていただきます。

続きまして、新年度となりまして教育委員会事務局にも新しい職員が転入されましたので、私から教育委員の皆様方の紹介をさせていただきたいと思っております。

職員の方から向かって右側から、山田周司委員でございます。

○委員（山田周司）

山田でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

続いて、伊藤敬一委員でございます。

○委員（伊藤敬一）

伊藤です。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

左のほうにいかせていただき、伊藤和子委員です。

○委員（伊藤和子）

伊藤和子です。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

それから、加藤由美委員でございます。

○委員（加藤由美）

加藤です。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

続いて、議席についてであります。小牧市教育委員会会議規則第5条の規定におきまして、委員の議席は教育長が定めるとされておりますので、私から指定させていただきます。

現在皆さんが着席されている議席を議席とさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

議席につきましては、現在着席されている議席とさせていただきます。

続きまして、私から教育長報告をさせていただきます。

令和2年度がスタートして、間もなく3週間が過ぎようとしているところであります。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、いまだに学校の臨時休業、公共施設の利用停止が続いておるところであります。

感染症対策本部会議での決定事項を受けての教育委員会での対応につきましては、この後、伊藤教育部長から報告させていただきますが、新年度につきましては、市内小学校に1,299名の児童が、中学校には1,367名の生徒が入学し、小学校全学年で8,397名、中学校全学年で4,234名、合計1万2,631名で児童生徒の確定をしたところであります。

今後は、学校再開の時期、タイミング等を考えながら、刻々と変化する状況への対応を迅速に行っていくように努めると考えておるところであります。また、3月初めから続く臨時休業に伴う児童生徒の学習補充についても、近隣市町と情報を共有しつつ検討を進め、できるだけ早い段階でご家庭にもお伝えしてまいりたいと考えております。

次に、広報「こまき」の4月15日号で、令和2年度の小牧市当初予算が公表されました。一般会計は615億円余で、そのうち教育費は前年度比70.6%増の128億円余で、全体額に対する構成比は20.9%となっております。今年度は、小牧南小学校の改築工事等大型な工事の関係で、例年以上に多額の予算を配当されております。教育関係それぞれの分野において、各種事業が円滑でかつ効率的に進められますよう、日々努めてまいりたいと考えております。

いずれにしましても、これまでの常識では想定できない新型コロナウイルス感染症対応の中で通常業務を進める大変さがありますが、全ての児童生徒をはじめ市民の皆様が安全安心に学び、充実した学びの環境を実感していただけるように、職員一丸となって職務を遂行していく覚悟であります。

以上で、私からの報告とさせていただきます。

続いて、部長報告をお願いします。

伊藤教育部長。

○教育部長（伊藤武志）

それでは、4月1日付けの定期人事異動に伴いまして、教育委員会に出席する事務局職員にも変更がありました。ここで、異動のありました事務職員のみとなりますが、紹介させていただきます。

今年度から、教育委員会所管事務を補助執行する健康生きがい支え合い推進部、こども未来部の部長職も出席しておりますので、まず、私からは教育委員会事務局で異動のあった職員を紹介させていただきます。

私の右側、社会教育担当次長から教育部次長に異動しました松永です。

○教育部次長（松永祥司）

よろしく申し上げます。

○教育部長（伊藤武志）

次に、私の後ろ、文化財課長兼小牧山課長の武市です。

○文化財課長兼小牧山課長兼文化・スポーツ課主幹（施設担当）（武市礼子）

武市です。よろしくお願いいいたします。

○教育部長（伊藤武志）

ほかに、学校給食課長兼北部学校給食センター所長の水野と学校教育課指導主事兼主幹の塚本、新図書館建設推進室長兼図書館主幹（新図書館運営担当）の矢本の3名も異動がりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本日欠席しております。

私からの職員紹介は以上であります。

教育委員会事務局では、本年度も小中学校の施設整備、ICT教育の推進、新図書館建設、史跡小牧山の発掘や整備などの文化財事業などを積極的に推進してまいります。ご意見、ご指摘を賜りますようお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

続いて、健康生きがい支え合い推進部、よろしく申し上げます。

入江健康生きがい支え合い推進部長。

○健康生きがい支え合い推進部長（入江慎介）

続きまして、健康生きがい支え合い推進部の職員の紹介をさせていただきます。

まず、私であります。健康生きがい支え合い推進部長の入江です。よろしく申し上げます。教育委員会所管事務の補助執行として、生涯学習、文化・スポーツの推進に関する事務事業を担当いたします。よろしくお願いいいたします。

続きまして、健康生きがい推進課長兼文化・スポーツ課長の永井です。

○健康生きがい推進課長兼文化・スポーツ課長（永井政栄）

永井です。よろしくお願いいいたします。

○健康生きがい支え合い推進部長（入江慎介）

続きまして、文化・スポーツ課主幹（施設担当）の武市です。

○文化財課長兼小牧山課長兼文化・スポーツ課主幹（施設担当）（武市礼子）

武市です。よろしく申し上げます。

○健康生きがい支え合い推進部長（入江慎介）

健康生きがい支え合い推進部は、昨年度策定されました小牧市まちづくり推進計画に基づきまして、都市ヴィジョンであります健康・支え合い循環都市実現のため、計画に定めた重点事業を中心に、さまざまな施策を展開してまいりたいと思っております。今後ともよろしくお願いいいたします。

○教育長（中川宣芳）

次に、こども未来部、申し上げます。

鍛冶屋こども未来部長。

○こども未来部長（鍛冶屋勉）

続きまして、こども未来部の職員の紹介をさせていただきます。

まず、私はこども未来部長の鍛冶屋です。教育委員会所管事務の補助執行として、幼稚園と青少年教育に関することを担任しております。よろしくお願いいたします。

ほかに、昨年まで生涯学習課長兼小牧山課長であった伊藤が4月からこども政策課長に異動しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるため、本日は欠席しております。

こども未来部は、部が創設された平成26年度から教育委員会所管事務の一部を補助執行してまいりました。これまで、こども未来部次長とこども政策課長、幼児教育・保育課長の3名が説明員として出席させていただいておりましたが、今年度から私も出席させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

職員の紹介をありがとうございました。

続いて、伊藤教育部長、お願いします。

伊藤教育部長。

○教育部長（伊藤武志）

続きまして、私から、新型コロナウイルス感染症に関する現在の教育委員会の対策について報告させていただきます。

去る4月9日に本市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、当面の本市の対策の方針が決定されました。

教育委員会関係では、まず施設については、小中学校、第一幼稚園は、5月6日の連休まで休校、休園を継続。市民会館、公民館、3市民センターの公民館、パークアリーナ小牧、図書館などの生涯学習、文化・スポーツの施設については、同じく5月6日まで利用停止といたしました。

4月13日には、愛知県が4月10日に緊急事態宣言を発出したことを受け、小学校の自主登校教室、児童クラブを4月14日から5月6日までの間、原則として、保護者の方が医療従事者や警察官、消防士など市民生活を守る職業で休むことができず、自宅に子どもを置いておけないなど、やむを得ない事情がある方のみ受け入れることとし、それ以外の方は、真にやむを得ないと判断される理由がなければ利用を控えていただくよう利用制限をさせていただくことといたしました。

今日で1週間経過しましたが、利用者数は、制限前の4月8日から13日までの平均が約760人でしたが、制限後はおおむね120人と、人数が約6分の1に減少しております。

休校期間中は児童生徒の生活や学習の遅れが心配されますので、現在、担任が各家庭を

訪問し児童生徒の様子を確認するとともに、学習ドリル等の教材を配付するなど、学校再開時に少しでもスムーズに授業に入れるように、また、児童生徒や保護者に必要なケアができるように取り組んでいるところであります。

新年度に入りまして実施している主な対策は以上であります。市内においても感染者の報告が次々と上がってきており、状況は深刻さが増してきております。

今後もさらなる対策を実施していくことになろうかと思っております。緊急で対策を実施していく場合、やむを得ず教育委員会への報告が事後となることもあろうかと思っております。よろしくお願ひしたいと思っております。

報告は以上であります。

○教育長（中川宣芳）

3部長におかれましてはありがとうございました。

それでは、議題に入ります。

議案第25号「附属機関の委員の任命について」、事務局の説明を求めます。

松永教育部次長。

○教育部次長（松永祥司）

ただいま議題となりました議案第25号についてご説明申し上げます。

1ページをお願いいたします。

附属機関の委員の任命についてであります。

附属機関の委員の任命について教育委員会の議決を求めるもので、小牧市歴史館等運営委員会委員であります。

提出理由は、附属機関の委員の任命をするため必要があるからであります。

内容につきましては、2ページの名簿によってご説明させていただきます。

この委員の名簿中、校長会代表の異動がございましたので、太字で記載してあります1名の委員を任命しようとするものであります。任期は、前委員の残任期間であります令和2年4月20日から令和3年4月24日までであります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第25号について、ご質問等あればお受けいたします。

いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第25号「附属機関の委員の任命について」は原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第25号については原案どおり可決することといたしました。

議案第26号「附属機関の委員の任命について」、事務局の説明を求めます。
松永教育部次長。

○教育部次長（松永祥司）

ただいま議題となりました議案第26号について、ご説明申し上げます。

3ページをお願いいたします。

附属機関の委員の任命についてであります。

附属機関の委員の任命について教育委員会の議決を求めるもので、小牧市文化財保護審議会委員であります。

提出理由は、附属機関の委員の任命をするため必要があるからであります。

内容につきましては、4ページの名簿によってご説明させていただきます。

この委員の名簿中、郷土史の区分において委員を追加するもので、本庄小学校校長森川智之氏を任命しようとするものであります。任期は2年で、令和2年4月20日から令和4年4月19日までであります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第26号について、ご質問等あればお受けいたします。

いかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

（発言なし）

それでは、議案第26号「附属機関の委員の任命について」は原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議案第26号については原案どおり可決することといたしました。

次に、議案第27号「附属機関の委員の任命について」、事務局の説明を求めます。

松永教育部次長。

○教育部次長（松永祥司）

ただいま議題となりました議案第27号について、ご説明申し上げます。

5ページをお願いいたします。

附属機関の委員の任命についてであります。

附属機関の委員の任命について教育委員会の議決を求めるもので、史跡小牧山整備計画審議会委員であります。

提出理由は、附属機関の委員の任命をするため必要があるからであります。

内容につきまして、6ページの名簿によってご説明させていただきます。

この委員の名簿中、市職員の異動がございましたので、太字で記載してあります1名の委員を任命しようとするものであります。任期は、前委員の残任期間であります令和2年

4月20日から令和3年4月30日まであります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第27号について、ご質問等あればお受けいたしますが、いかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

（発言なし）

それでは、議案第27号「附属機関の委員の任命について」は原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

では、議案第27号については原案どおり可決することといたしました。

続いて、議案第28号「附属機関の委員の任命及び委嘱について」、事務局の説明を求めます。

松永教育部次長。

○教育部次長（松永祥司）

ただいま議題となりました議案第28号について、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、7ページをお願いいたします。

附属機関の委員の任命及び委嘱についてであります。

附属機関の委員の任命及び委嘱について教育委員会の議決を求めるもので、小牧市立図書館協議会委員及び小牧市視聴覚ライブラリー運営委員会委員であります。

提出理由は、附属機関の委員の任命及び委嘱をするため必要があるからであります。

内容につきましては、8ページの名簿によってご説明させていただきます。

この委員の名簿中、教職員及び市職員の異動がございましたので、太字で記載してあります2名の委員を任命しようとするものであります。

任期は、前委員の残任期間であります令和2年4月1日から令和2年6月30日までであります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第28号について、ご質問等あればお受けいたしますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。

（発言なし）

それでは、議案第28号「附属機関の委員の任命及び委嘱について」は原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

では、議案第28号については原案どおり可決することといたしました。

次に、議案第29号「附属機関の委員の委嘱及び任命について」、事務局の説明を求めます。

入江健康生きがい支え合い推進部長。

○健康生きがい支え合い推進部長（入江慎介）

ただいま議題となりました議案第29号について、ご説明申し上げます。

9ページをお願いいたします。

附属機関の委員の委嘱及び任命についてであります。

附属機関の委員の委嘱及び任命について教育委員会の議決を求めるもので、小牧市社会教育委員兼小牧市生涯学習審議会委員兼小牧市公民館運営審議会委員であります。

提出理由であります。附属機関の委員の委嘱及び任命をするため必要があるからであります。

内容につきましては、10ページの名簿によってご説明させていただきます。10ページをお願いいたします。

この名簿中、太字で記載してあります校長代表と学校地域コーディネーターにつきましては4月1日から担当委員の交代がありましたので、校長代表として中川裕子氏、学校地域コーディネーターとして野村昌子氏に、それぞれ委嘱及び任命しようとするものであります。任期は、前委員の残任期間であります令和2年4月1日から令和3年3月31日までであります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第29号について、ご質問等あればお受けいたします。いかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

（発言なし）

それでは、議案第29号「附属機関の委員の委嘱及び任命について」は原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第29号については原案どおり可決することといたしました。

続きまして、報告・連絡事項に入ります。

初めに、教育総務課、お願いいたします。

小川教育総務課長。

○教育総務課長（小川正夫）

それでは、報告第1号「小牧南小学校改築工事実施設計について」でございます。

別冊1をお願いいたします。資料、「実施設計報告書【概要版】」の1ページをご覧ください。

ださい。

1 ページは、南西側から学校全体を俯瞰した絵です。東側に校舎を、西側にグラウンドを配置しました。

続いて2ページをお願いいたします。

2 ページは内観で、児童が行き交う建物の中心となるところでございます。2階の図書エリアから教室方向を望んだ絵でございます。

続いて3ページをお願いいたします。

3 ページは、改築方針、設計コンセプトです。左側には、小牧南小学校改築の基本構想、基本計画に示された改築コンセプトを記載しております。右側には、基本設計を行う上での方針となる設計コンセプトを記載しております。

4 ページをご覧ください。

計画概要です。主なものとしましては、左側、建築計画概要の中段辺りの延床面積は約1万1,300平方メートルとしており、その3つ下の階数は、地上4階建てとしております。校舎屋上の塔屋棟、体育館屋上にあるプールの管理室が4階の扱いとなるため、建築基準法上、階数は4階となります。その1つ下の構造形式は、校舎棟、体育館棟ともに鉄筋コンクリート造一部鉄骨造で計画しております。

真ん中、教室数・配置をご覧ください。教室数を29室、図書室、理科室などの特別教室を20室配置しております。最下段の児童クラブ保育室は、体育館棟に4室配置しております。

5 ページをお願いします。

配置計画です。新校舎の建て替えは、現校舎南東位置に建設する計画としております。なお、図面に重ねて敷地の北側と西側に引いてある破線は、現在の校舎、体育館、プールを表しております。新校舎は、日当たりのよい敷地南側に普通教室棟を、中央に管理・特別教室棟を、音の出る体育館棟は、各教室からの距離を確保するとともに、地域会合や災害時対応に配慮いたしまして校舎の北側に配置する計画としております。普通教室棟、管理・特別教室棟と体育館棟をつなぎ、3棟が一体となった構成としております。

プールにつきましては、敷地を有効利活用するため、体育館棟の屋上に設ける計画としております。

グラウンドにつきましては敷地の西側、登下校の門は、各学区の通学路、通学児童数などから、東側に正門、南北に西門と南門の、合計3か所を配置する計画としております。

また、車両出入口は北側と東側の2か所とし、敷地内の歩車分離を図る配置としております。

校舎の出入口につきましては、校舎西側に児童昇降口、職員玄関を校舎東側に、来客・地域用玄関と児童クラブ玄関をそれぞれ配置する計画としております。

また、児童クラブや夜間・休日における体育館の開放、地域の方々が学校施設を利用される際の出入口も別途配置しております。

6ページをお願いします。

6ページから9ページにかけては、各階の平面計画及び平面図を記載しております。

10ページをご覧ください。

10ページから11ページは立面計画、断面計画を掲載しております。

最後に、12ページをご覧ください。

工事手順図です。令和2年度から約2年かけて新校舎、体育館を建設し、3年後の令和4年の早い時期に新校舎で授業が行えるよう、建て替えを計画しております。

まず、敷地南東に校舎、体育館を建設し、現在使用している校舎、体育館、児童クラブにつきましては新校舎が完成するまでの間使用し、新校舎への引っ越しが完了した後に解体を始めます。約1年をかけて解体工事、グラウンド、駐車場等の外構整備を行い、令和4年度末までに全ての工事を終了する予定としております。

以上が実施設計についてのご説明でございます。

次に、報告第2号「小牧市学校施設長寿命化計画について」でございます。

別冊2をお願いします。資料、「小牧市学校施設長寿命化計画 概要版」の1ページをご覧ください。

1の背景・目的です。

本市の小中学校は、他の公共施設と比較して特に老朽化が進んでおり、今後、建物の修繕、大規模改修、改築の必要性がますます高まってきております。こういった状況において、学校施設のあり方を踏まえ計画的な施設整備を行うことにより財政負担の軽減と平準化を図り、効率的・効果的な学校施設のマネジメントの実現を目指すために、本計画を策定いたしました。

2の学校施設の目指すべき姿でございます。

学校施設の目指すべき姿を3点決めました。

1点目は長期間快適で安全に過ごすことができる学校施設、2点目は教育環境の充実した学校施設、3点目は地域に開かれた学校施設でございます。

3の学校施設の実態です。

児童生徒数、園児数は減少傾向ではありますが、現在保有している学校施設を維持していくためには、近年5か年では年間約13億8,000万円の経費を要しております。

学校施設の保有状況につきましては、昭和30年代から50年代にかけて建設された建物が多く、老朽化による改築等が生じやすい築30年以上の建物が約80%あり、全体的に老朽化が進んでいる状況でございます。

学校施設の老朽化状況の実態ですが、構造躯体の健全度につきまして、全ての対象施設が物理的に健全であり、長寿命化できる施設であると判断いたしました。

2 ページをお願いします。

構造躯体以外の劣化状況・健全度につきましては、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5部位について、現地調査等により4段階で評価してあります。

3 ページをお願いいたします。

4 の学校施設の長寿命化の基本方針です。

ここまでで整理した学校施設の目指すべき姿及び実態を踏まえ、学校施設の長寿命化の基本方針を5つ定めたものでございます。

5 の学校施設整備の考え方です。

学校施設は、80年間使用することを目指します。そこで不具合が発生した場合に改築するだけでなく、予防保全として適時改修も随時実施するとともに、40年程度経過した建物の長寿命化改修を実施し建物の耐用年数を80年まで延ばし、長期的な維持・更新コストの削減を図ります。

また、本市の人口は令和30年には12万2,000人まで減少すると推測されており、改築にあたっては、施設ごとに適正な規模となるよう検討し、全体として施設あたり延床面積を削減していくとともに、統廃合も視野に入れた検討をし、本計画での今後の施設整備に係るコストの試算においては、改築後延床面積の削減量を20%として算出しております。

6 の長寿命化の実施計画です。

今説明した方法で施設整備を進めていきますと、今後50年間のコストは約911億円と試算され、従来の方法で整備する場合と比べると、約300億円が削減できると考えております。

7 の長寿命化計画（個別施設計画）の継続的運用方針です。

この計画を継続的に運用できるよう、過去の改修・更新履歴を管理するとともに、定期的な点検を行い建物の現状把握を行っていきます。

以上が長寿命化計画の説明でございます。

次に、連絡事項、5・6月行事予定でございます。

11 ページをお願いいたします。

5月の予定です。

3日、4日のこども遊びウィーク、11日からの学校訪問につきましては、本年度は全て中止となりましたので、よろしく申し上げます。

15日金曜日は、愛日地方教育事務協議会が小牧市役所大会議室で開催されます。

12 ページをお願いします。

17日の水防訓練、31日の男女共同参画講演会につきましては中止となりました。

19日火曜日は、午後2時から定例の教育委員会を301の会議室で開催いたします。

13 ページをお願いします。

6月の予定です。

6月5日金曜日は、本会議の招集日となっております。

15日は、本会議が開催されます。

14ページをお願いします。

16日・17日と本会議が開催され、22日月曜日は文教建設委員会・文教建設分科会が開催されます。

25日木曜日は、本会議の最終日となっております。

26日金曜日は、午後2時から定例の教育委員会を301の会議室で開催いたします。

5月・6月の行事予定は以上となります。

以上で報告・連絡事項とさせていただきます。

○教育長（中川宣芳）

続いて、学校教育課、お願いします。

堀田学校教育課長。

○学校教育課長（堀田正二）

それでは、学校教育課の報告第3号「令和2年度主任・主事について」をお願いいたします。

資料は、15ページ、16ページになります。

4月になりまして、各校で主任・主事をはじめ校務分掌等が決定しました。新型コロナウイルスの感染防止のため休校中ではありますが、小中学校25校の一覧表を資料として提出させていただきます。この資料をもって報告と代えさせていただきますので、よろしくをお願いします。

以上です。

○教育長（中川宣芳）

次に、まなび創造館、お願いします。

恒川まなび創造館長。

○まなび創造館長（恒川正樹）

報告第4号「行政文書の開示について」をご報告させていただきます。

資料はございません。

令和2年3月30日付けで、市外在住の方より小牧市情報公開条例に基づきまして、令和元年度に実施しましたまなび創造館、市民会館、東部市民センター及び味岡市民センターのピアノ保守点検及び調律の契約内容がわかるもの、見積り明細の開示請求がございました。

この開示請求に対しましては、3月31日付けで受注業者の代表者の印影を除いた開示の決定をいたしまして、4月10日に開示を行いました。

以上、報告いたします。

○教育長（中川宣芳）

次に、文化財課、お願いします。

武市文化財課長。

○文化財課長兼小牧山課長兼文化・スポーツ課主幹（施設担当）（武市礼子）

報告第5号「小牧市文化財資料研究会役員について」、ご報告させていただきます。

資料の17ページをお願いいたします。

市内の社会科の先生で構成されます小牧市文化財資料研究会であります、太字の先生が変更となりましたので、ご報告させていただきます。

任期は、令和3年3月31日までとなります。

以上で報告とさせていただきます。

○教育長（中川宣芳）

続きまして、文化・スポーツ課、お願いします。

永井文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（永井政栄）

それでは、文化・スポーツ課より、報告第6号から第10号まで5件の報告をさせていただきます。

初めに、報告第6号「令和元年度一般財団法人こまき市民文化財団収支補正予算について」、説明させていただきます。

資料は、18ページをお願いいたします。

本件は、令和2年2月に行われましたこまき市民文化財団の理事会において提案され、承認されたものであります。

19ページ、20ページをお願いいたします。

事業活動収入、事業活動支出におきまして、それぞれ1,000万円の減額になっております。これは、受託事業の施設の管理運営事業の執行における事業費の精査によるものであります。

続きまして、21ページをお願いいたします。

報告第7号「令和2年度一般財団法人こまき市民文化財団事業計画等について」、ご説明させていただきます。

本件は、令和2年2月に行われましたこまき市民文化財団の理事会において提案され、承認されたものであります。

22ページをお願いいたします。

一般財団法人こまき市民文化財団の役員・評議員名簿と事務分掌図であります。

23ページをお願いいたします。

令和2年度のこまき市民文化財団の事業計画であります。

Iの基本方針で、文化財団のビジョン・ミッション・行動方針に基づき、文化に触れる

きっかけづくりをより一層充実していくこととしております。

次に、Ⅱの事業概要であります。

1の普及事業として、鑑賞や体験を通して市民に良質な文化に触れる機会を提供し、文化・芸術に興味を持つきっかけをつくります。

2の伝統文化事業として、市民が伝統文化や生活文化に触れる機会を提供いたします。

24ページをお願いいたします。

3の舞台公演事業では、優れた舞台芸術が鑑賞できる機会を充実し、市民参加型のコンテンポラリーダンス公演や愛知県芸術劇場などと連携した事業を展開いたします。

4の美術事業では、幅広い分野のアートに目を向け、アートを通して人と人とのつながりをつくります。

5のこまなび事業では、各種講座の開催や市民の生涯学習活動のコーディネート、相談体制を充実させてまいります。

6の広報事業では、財団が行う事業を効果的に進めるため情報発信し、文化情報の認知度を高めます。

25ページをお願いいたします。

7の施設運営事業として、指定管理者として記載の5施設の管理運営を行います。

なお、25ページから30ページにかけて、令和2年度の主な事業を掲載しております。少し飛びまして、31ページをお願いいたします。

令和2年度の収支予算です。

資金収支ベースの収支予算書で説明させていただきます。

まず、Ⅰの事業活動収支の部ですが、収入計は、中段、事業活動収入計にありますとおり5億4,103万3,000円であります。

次に、支出であります。32ページをお願いいたします。中段になりますが、事業活動支出の合計は5億3,843万7,000円となっております。

続きまして、Ⅱの投資活動収支の部で、2の投資活動支出の84万4,000円は、退職給付引当資産取得支出であります。

Ⅲの財務活動収支の部で、財務活動支出が165万2,000円は、リース債務返済支出であります。

以上、令和2年度こまき市民文化財団の事業計画及び予算の説明とさせていただきます。

なお、この内容は令和2年第2回定例会に報告させていただくものとなります。

続きまして、34ページをお願いいたします。

報告第8号「中部フィルハーモニー交響楽団補助金交付要綱の制定について」であります。

この中部フィルハーモニー交響楽団補助金交付要綱は、中部フィルハーモニー交響楽団が実施する交響管弦楽による音楽芸術事業に対して補助金を交付することにより、本市の

音楽芸術文化の振興及びブランド力の向上を図ることを目的として制定したものであります。

36ページをお願いいたします。

本要綱は、令和2年4月1日から施行し、令和5年3月31日限り、その効力を失うこととしております。

続きまして、少し飛びますが41ページをお願いいたします。

報告第9号「令和元年度公益財団法人小牧市体育協会収支補正予算について」、説明させていただきます。

本件は、令和2年2月に行われました小牧市体育協会の理事会において提案され、承認されたものであります。

42ページをお願いいたします。

事業活動収入におきまして、2,516万5,000円の減額。

43ページをお願いいたします。

事業活動支出におきまして、2,517万1,000円の減額。

事業活動収入と事業活動支出の差額6,000円は、その下段、下から6行目になりますが、投資活動支出の6,000円の増額であります。

事業活動収入及び支出の減額は、主に補助事業及び受託事業の執行における事業費の精査によるもので、投資的活動支出の増額は、退職給付引当資産取得支出において、人事院勧告に伴い引当金の額が変更となったことから、不足分を増額したものであります。

44ページをお願いいたします。

続きまして、報告第10号「令和2年度公益財団法人小牧市スポーツ協会事業計画等について」、説明させていただきます。

本件は、令和2年2月に行われました小牧市体育協会の理事会において提案され、承認されたものであります。

45ページをお願いいたします。

令和2年3月に行われました小牧市体育協会の臨時評議員会において、公益財団法人小牧市体育協会は令和2年4月1日より名称を公益財団法人小牧市スポーツ協会に変更することが決定されました。こちらは、公益財団法人小牧市スポーツ協会の役員・評議員名簿と事務分掌図であります。

46ページをお願いいたします。

令和2年度小牧市スポーツ協会の事業計画であります。

1の、スポーツの普及と振興に向け、加盟団体との協力・連携の一層の強化を図り、市民がスポーツに親しみ健康で活気あふれる明るいまちづくりに寄与するという方針のもと、本年度も様々な事業に取り組む計画となっております。

3の各種事業の概要であります。

(1) 市民のニーズに合わせた様々なスポーツを実施する機会と場を提供する事業として、健康・体力づくりに関する事業をはじめとして各種事業に取り組んでまいります。

47ページをお願いいたします。

(2) 市民にスポーツを観戦する機会を提供する事業として、市民が生の感動を身近に感じられるよう、バレーボールなど大規模な大会を観戦する機会を引き続き提供してまいります。

(3) スポーツに関する環境整備及び活動支援事業として、指導者などの養成や加盟団体への助成事業などを行ってまいります。

(4) スポーツに関する普及・啓発・情報発信事業として、各種広報事業を行ってまいります。

48ページをお願いいたします。

令和2年度の収支予算です。

収支予算につきましては、資金収支ベースの収支予算書で説明させていただきます。

初めに、Ⅰの事業活動収支の部ですが、収入計は、中段にあります事業活動収入計にありますとおり5億8,935万8,000円です。

次に、支出であります。49ページをお願いいたします。

中段となりますが、事業活動支出の合計は5億9,776万6,000円となっております。

次に、Ⅱの投資活動収支の部です。

収入は、今年度退職者を予定しておりますので、特定資産取崩収入といたしまして1,959万8,000円を計上しております。

支出は、退職給付引当資産取得支出として1,111万2,000円を、記念式典準備積立資産取得支出といたしまして50万円を、それぞれ計上しております。

以上、令和2年度の小牧市スポーツ協会の事業計画及び予算の説明とさせていただきます。

なお、この内容は、報告第9号「令和元年度公益財団法人小牧市体育協会収支補正予算」と併せまして、令和2年第2回定例会に報告させていただくものとなります。

以上、説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

報告・連絡事項は以上で終わりました。

この報告・連絡事項につきまして、何かご意見、ご質問はございますか。

山田委員、お願いします。

○委員（山田周司）

1つ確認ですが、資料の45ページに記載の、小牧市スポーツ協会が管理受託をしている施設は、7施設ということでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

武市文化・スポーツ課主幹。

○文化財課長兼小牧山課長兼文化・スポーツ課主幹（施設担当）（武市礼子）

スポーツ広場が2つございますので、これを含めて7施設でございます。

以上です。

○教育長（中川宣芳）

ほかに何かございますか。

伊藤和子委員。

○委員（伊藤和子）

中部フィルハーモニー交響楽団への補助金について、令和5年3月末までの期限を設けているのは、どうしてでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

永井文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（永井政栄）

補助金の交付要綱に3年の有期設定とした理由ではありますが、昨年度、中部フィルハーモニー交響楽団の支援に関する要望書と併せて提出されました経営改善計画書の計画期間が令和4年度までとなっており、その計画の中で掲げた地域に根差したトップクラスのオーケストラを目指した取り組みを支援するものということで、経営改善計画書の期間に合わせたものとしております。

以上となります。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい、ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

よろしいですか。

（発言なし）

それでは、ほかにご発言はありませんか。

（発言なし）

ほかにご発言もないようですので、令和2年第4回定例教育委員会を以上で閉会いたします。お疲れさまでした。

<閉会 午後 4時52分>

署 名 欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員